



関係者に見守られながら調印されました



協定書にサインする李相兆密陽市長



手を合わせる両市の市長と議長。これからは、市民レベルの交流が始まります



協定書を交わし、握手する両市長

瀬戸内市は、同市牛窓がかつて朝鮮通信使の寄港地であったこと、そして、密陽市が朝鮮通信使の礎を築いた松雲大師の生誕地であったことから知り合い、相互訪問などを通じて交流してきました。

密陽市と 友好交流協定締結

4月6日、瀬戸内市から訪問団一行28人が、大韓民国密陽市を訪問。密陽市役所で密陽市と瀬戸内市の国際友好交流協定調印式が行われました。

「両市の持続的発展と市民間の相互理解、友好交流の積極的推進、揺るぎない信頼と友情の醸成、ひいては日韓両国の友好親善に寄与するため、友好交流協定を締結する」と書かれた友好交流協定書に、李相兆密陽市長と立岡脩二瀬戸内市長が署名し、友好交流協定が締結されました。

友好交流協定が結ばれた両市は、これから青少年交流や文化・芸術、行政など、幅広い分野で相互交流が深められます。

交流経過

これまでの交流経過を紹介します。平成16年5月、密陽市で開催された「朝鮮通信使とまちづくりに関する日韓国際歴史会議2004」に東原和郎助役（当時は牛窓町長）がパネリストとして参加しました。翌年5月、立岡脩二市長が岡山市長とともに、密陽市を訪問。8月には、東原和郎助役や中村勝行議長、村勝行議長、長ら瀬戸内市訪問団8人が訪問し、交流を深めました。同年9月には、李相兆密陽市長をはじめ、密陽市訪問団7人が、瀬戸内市を訪問しました。11月、友好交流協定書（日本側協定）に調印するため、密陽市長ら密陽市訪問団20人が瀬戸内市を訪問し、エーゲ海フェスティバルにも参加しました。そして、4月6日、立岡市長、中村議長ら市関係者や在日大韓民国民団関係者の訪問団28人が密陽市を訪問。友好交流協定調印式に出席し、友好交流協定書（大韓民国側協定書）に調印しました。

11月、友好交流協定書（日本側協定）に調印しました。



密陽市訪問団も参加したエーゲ海フェスティバル